

SIMSTAR #01

Simulation Center for Medical Skills **Training** and **Research** | 2017 MARCH |

Tohoku University

医療技術と医療安全の向上を目指し、地域に根ざした医療人材の育成



特 集

Sendai ECMO Sim
(Sendai Extracorporeal Membrane Oxygenation Simulation)

地域医療・介護指導者育成プログラム
皆様の教育活動を支援させていただくための登録制度の概要

Sendai ECMO Sim (Sendai Extracorporeal Membrane Oxygenation Simulation)



心 停止になった患者様の治療のゴールは、心臓を再度動かすことだけでなく、意識が回復して社会復帰することです。意識回復（脳蘇生）のためには、呼吸や血液循環、体温管理を適切に行うことが極めて重要となります。ECMO (Extracorporeal Membrane Oxygenation) は、人工肺やポンプ機能を持つ体外循環装置を使った治療のことを指し、重症心不全や重症呼吸不全、心肺停止状態の患者様に対して行われる生命維持法です。急性心筋梗塞や心停止からの蘇生後の

心筋障害では、心臓のポンプ機能が弱まり、全身に十分な酸素が行き渡らなくなることで、臓器の機能が低下した状態に陥ることがあります。それらの改善に薬剤等がうまく作用しない場合に、体外循環装置を用いた血液循環の補助が必要となります。本スキルスラボでは、“Sendai ECMO Sim” と称した教育コースを定期的に開催しています。このコースでは、体外循環装置とシミュレータ（医療教育用マネキン）、オリジナル循環モデル“Endo-Circuit”を用いて準備方法や

処置の手順、トラブルの対処法を学び、さらにはECMOが必要となるケースシナリオのシミュレーションにより、チーム医療の教育を受けることができます。このコースは、遠藤智之氏（東北医科薬科大学）が東北大学総合地域医療研修センターに在職中に開発した教育コースで、2016年には、学術雑誌 Acute Medicine & Surgery に現在までの取り組みが掲載されました。
(DOI: 10.1002/ams2.236)

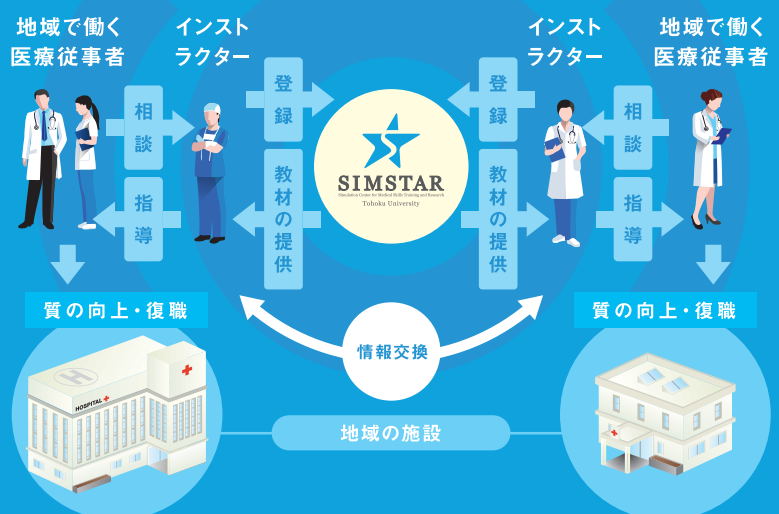
地域医療・介護指導者育成プログラム

皆様の教育活動を支援させていただくための登録制度の概要

東北大学クリニカル・スキルスラボ (SIMSTAR) は、地域で働く医療職および介護職の皆様が、研修会の開催等を通じた教育活動を行う際に強力な支援を行い、地域医療の質の向上を目指します。

指導者の登録

宮城県内の医療職および介護職の方は、今後開催を予定しているシミュレーション医療教育の指導者のための研修会に参加することにより、本スキルスラボが定める指導者として登録されます。登録された指導者が地域の施設等で研修会を開催する際には、シミュレータ等の教育資材の貸与を受けることが可能となります。



現在、指導者として登録するための研修会の開催に向けて、準備を進めております。準備が出来次第、東北大学クリニカル・スキルスラボのホームページに詳細を掲示させていただきます。

学内教職員向け



東北大学教職員研修

心肺蘇生法及びAEDの使用法の講習会

学内の様々な部署の教職員を対象とした心肺蘇生法及びAEDの使用法の講習会を開催しました。2016年度は東北大学病院臨床研究推進センターのスタッフや災害科学国際研究所の教職員に対し、スキルスラボのスタッフが指導を行いました。

学外医療従事者向け



出張スキルスラボ

ミニICLSコース in 気仙沼市立病院

気仙沼市立病院に教育資材を持ち込み、研修医及び看護師を対象に、出張スキルスラボを開催しました。2012年度から毎年実施しており、2016年度はImmediate Cardiac Life Supportをテーマに、突然の心停止に対する最初の10分間の対応とチーム蘇生の研修を行いました。

地域住民向け



講演会

赤ちゃんの命を守るために ～乳幼児突然死症候群の理解と予防～

地域住民を対象に、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する講演会を開催しました。会では、仙台市立病院救命救急センター長の村田祐二氏とSIDS患者ご遺族の西村洋平氏の講演、乳幼児の心肺蘇生法及び窒息時の対応方法について演習を行いました。

学校・保育施設教職員向け



出前セミナー

食物アレルギー緊急時対応講習会

県内の学校・保育施設等からの依頼により、児童がアレルギー症状を起こした際の緊急時の対応について、各施設に赴いてセミナーを開催しました。本セミナーは、宮城県立こども病院の看護師らにご協力いただきながら開催しています。

中学生向け



地域医療を志す中学生育成事業

医学部看護学部体験会

宮城県内の医師や看護師を目指す中学生約40名を対象に、医療手技体験会を開催しました。参加者は、スキルスラボのスタッフや東北大学病院看護部の指導により、心臓聴診・血圧測定・心肺蘇生法を体験し、医療の仕事への理解を深めました。

施設利用者・講演会参加者の声

当院の看護部新人研修でスキルスラボを利用いたしました。シナリオ作成やシミュレータ活用など施設管理者より助言をうけることができ、臨場感あふれる研修にすることができました。また、心音・呼吸音聴取では、シミュレータのリアルな音で正常と異常の特徴を理解でき、学習者の満足度の高い研修になりました。今後も活用させていただきたいと考えています。よろしくお願いたします。

宮城県立こども病院 看護部教育担当 **横内由樹**

以前より乳幼児突然死症候群という言葉は聞いたところがありましたが、実際どのように起きているのかあまり知る機会はありませんでした。今回、講演会に参加し、突然死は時に防ぎようのないことであっても普段から気にかけるポイント、もしも何か起こってしまった場合の対処(突然死に限らず)を知ることができ、大変勉強になりました。たくさんの方に広く知ってもらいたい内容でした。

講演会:赤ちゃんの命を守るために **参加者**



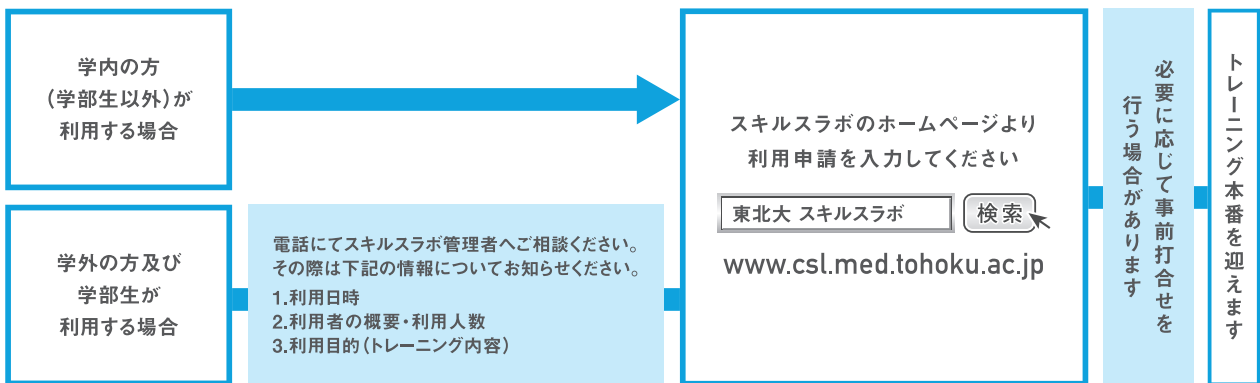
東北大学クリニカル・スキルスラボ 施設概要

クリニカル・スキルスラボには、シミュレータ（模型とバーチャル型）や様々な医療機器、備品などが整備されており、広範囲な臨床技能が医療現場を模した環境で安全かつ効果的に学べます。またラボには専任の管理者がおり、利用手続き上のお困り事のみならず、トレーニングの準備やトレーニング中のサポート、シミュレーション教育方法に関する相談などにも応じられます。充実した教育環境が提供できますので、ぜひご活用ください。

利用方法

UTILIZATION
METHOD

平日の9:00から17:00の利用が原則となりますが、時間外利用（土日・祝日）に関しましては別途ご相談ください。
学外の方が利用する場合、規定の使用料が必要となります。詳細は下記のホームページで“利用方法”をご覧ください。



利用対象者

1. 東北大学に在籍する学生、および職員
2. スキルスラボで行う講習会等の参加者
3. 医療関連教育施設、医療関連組織（看護協会、介護協会など）
4. スキルスラボが認めた個人、施設、組織

※初めてご利用を希望する際、まずはスタッフまでご相談ください。

※学外の方の利用申請は原則、使用する日の1ヶ月前（土曜日、日曜日又は祝日の場合はその前日の営業日）までお願いいたします。

※館内は禁煙です。喫煙スペースはございません。

※駐車場はございませんので、お車で越しの場合は近隣の駐車場をご利用ください。

※予約のキャンセルの場合は必ずスキルスラボまでご連絡ください。施設のキャンセルは可能ですが請求確定後の使用料のご返金は致しかねますのでご注意ください。

※利用後は必ずエアコンを切り、照明を消してから退室してください。

facebook

東北大学クリニカル・スキルスラボ (Simstar) Facebook

利用情報やイベント告知情報などの最新情報を公開しております。
一般向けの情報もございますので、ご興味のある方はぜひチェックしてください。



仙台駅からの
アクセス



SUBWAY

「北四番丁駅」下車、徒歩約10分
(東北大学病院から、北四番丁通りを挟んで、向かい側)



BUS

JR仙台駅西口バスプール10、13、15、31番のりば発、
「交通局大学病院前」・「大学病院前」下車



電話 022-717-8867 受付時間/平日 9:00-17:00

ファックス 022-717-8587

所在地 〒980-0873 仙台市青葉区広瀬町3-34 良陵会館内

最新の情報はホームページをご覧ください。 <http://www.csl.med.tohoku.ac.jp>

